

2026 年 4 月 9 日

横浜市 みどり環境局
戦略企画課 環境保全担当 御中

生活協同組合パルシステム神奈川
理事長 藤田 順子

「横浜市環境管理計画（素案）」への意見書

私たちパルシステム神奈川は、「生命（いのち）を愛（いづく）しみ、自立と協同の力で、心豊かな地域社会を創り出します」を理念とし、安心して暮らせる社会をつくるために神奈川県内で事業活動を行なっております。当組合では、組合員とともに自然にできるだけ負担をかけない商品づくりや、独自の物流システムを活用したリユース・リサイクルなど、環境負荷の低減に長年にわたり取り組んできました。

今回、意見を募集されている「横浜市環境管理計画（素案）」とも歩調をあわせ、環境負荷を低減し、豊かな環境の恵みを享受できる社会づくりに貢献したいと考え、本計画が、環境の恵みを次世代へつなぐ実効性の高いものとなるよう、以下の通り意見を提出いたします。

■第1章 1. 「横浜の環境」の未来を考える (6,7,8,12 ページ)

【将来イメージ図の配色とメッセージ性の整合について】

イラストが着色されるともう少し印象も変わるとは思いますが、一般的に水色には冷たさや、冷静さというイメージがあり、ピンク色には温かみを感じると思います。背景の色がイメージと逆に感じられ、ピンクが良いイメージに捉えられてしまう気がします。「環境を大切にしたい未来」を明るい希望を感じさせる色とし、「大切にしない未来」は危機感を喚起するグレー系にするなど、メッセージ性と合致した直感的に伝わる配色への変更を検討してください。

■第1章 2. 横浜の環境の歩みとその先へ (9,10 ページ)

【横浜市環境施策に関する年表・紹介資料の視認性向上について】

資料の網羅性は高く評価しますが、情報量が過多であり、初見の読者にとって内容を把握しづらい構成となっています。情報の整理とデザインの工夫による視認性の向上を求めます。

■第2章 1. 地球環境の今 (14 ページ)

【世界地図を用いた気候変動リスクの図解表現の改善について】

世界規模での災害状況を網羅している点は理解しますが、地図上の情報密度が高く、各地の被害特性や深刻度が判別しにくくなっています。視覚的な情報の整理を行い、市民が「自分事」としてリスクを捉えやすい表現への改善を求めます。

■第4章 1. 方針1 気候変動への対応 (31 ページ)

【太陽光パネル リサイクル促進について】

「政策 1-1 脱炭素社会の推進」における再生可能エネルギーの普及に関連し、将来的な廃棄問題を見据えた「太陽光パネルのリサイクル促進」を明記すべきです。

パネルのリサイクルについては、国による法整備が待たれる状況ですが、廃棄パネルの適正処理や不法投棄の未然防止を図るうえでも、自治体として先行して回収・リサイクルの仕組みづくりや情報提供を行うことは、方針3（循環経済）との整合性の観点からも不可欠です。ぜひ具体的な施策として盛り込んでください。

■第4章 1. 方針3 循環経済への移行 (41 ページ)

【3Rの優先順位を意識した計画づくりについて】

- 「1. 資源の循環利用」の事例列挙がリサイクルに偏っており、リデュース（発生抑制）やリユース（再使用）の視点が不足しています。環境負荷低減の原則は「1.リデュース、2.リユース、3.リサイクル」の順序です。リサイクルを最優先としているような誤解を与えないよう、この優先順位を計画内で明確に位置づけ、それぞれの具体策をバランスよく記載してください。また、その点を考慮した計画づくりをすすめてください。
- 「2. 持続可能な生産と消費」の文章中のシェアリングについて、現在普及しているシェアサイクルステーションの多くが野外設置であり、車両の劣化による短寿命化が懸念されます。電動アシスト自転車の資産価値を維持し、事業の継続性を高めるためにも、既存の公的・民間駐輪場の屋根下スペースの有効活用など、適切な保管環境を確保した施策展開を求めます。

■第4章 1. 方針4 人づくり (42 ページ)

【市民目線での周知啓発と専門用語の平易な解説について】

本計画を市民一人ひとりの行動変容につなげるためには、誰もが自分事として捉えられる周知啓発が不可欠です。市の環境に関する様々な取組みを多くの人に知ってもらい、今、自分が何をすべきかを考えるきっかけとなるような、一般市民が馴染みやすい表現、手法で周知しながら、市民への啓発活動に力を入れてください。

また今回の「横浜市環境管理計画（素案）」には、プラネタリーバウンダリー、ネイチャーポジティブ、サーキュラエコノミー、デジタルプロダクトパスポート、グリーンメタノール、カーボンニュートラルポートなど、一般市民には馴染みの薄い用語が多く、理解の妨げとなる可能性があります。巻末への用語集の設置や、掲載ページ内での注釈追加など、市民の目線に立った「わかりやすい解説」を必ず掲載してください。

以上